

上越市立高志小学校学校だより No.1530

令和2年度 No.11

令和2年12月22日

六花の輝き

＜教育目標＞

喜んで登校し、
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25

TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188

E-mail takashi@jorne.or.jp

ありがとうございました

校長 遠藤和英

12月24日で無事に2学期を終えることができます。心配された新型コロナウイルス感染症による臨時休業等もなく、また、交通事故等の大きなけがもなく全日程を終えることができそうです。保護者の皆様、地域の皆様には、当校の教育活動をご理解・ご協力をいただき感謝いたします。

さて、令和2年度の2学期は、1学期の臨時休業や分散登校を受け、年度当初の予定より開始を2日間早め、合計84日間でした。行事等から子どもたちの様子を振り返ってみますと、1学期にできなかった運動会、5年生の宿泊体験学習、なかよしウォークを実施することができました。また、実施の可否を心配していた6年生の修学旅行も実施することができました。ただ、この中でほぼ当初の予定どおりに実施できたものは、5年生の宿泊体験学習だけです。運動会は日程、種目、応援方法などを大きく変更した中での実施でした。修学旅行は、期間、方面など全面的な見直しを行っての実施でした。なかよしウォークも、学校外に出ることなく、学校内でどうやったら実施できるのか検討したうえでの実施でした。

これらの行事に代表されるいわゆる特別活動は、人間形成の統合的な時間として教育課程に位置付けられています。子どもたちは、これらの行事を通して、仲間と協力して活動を行うために必要な力や人間関係をよりよくする力を体験的に身に付けていきます。ですから、むしろ感染症で思うように教育活動ができない現状のようなときにこそ、重要視されなければいけないとも考えています。おかげさまで本校でも、工夫して行った学校行事等を通じて、子どもたちの自主性、自立性だけでなく、仲間意識や高学年のリーダー性、また、一人一人の自己肯定感に至るまで、多くのことを伸ばす機会を提供することができました。状況に応じて計画等の見直しをしなければならないため、職員は大変な思いをしましたが、工夫して実施したことで得たものは大きいと実感しています。保護者の皆様のご理解ご協力もありがたかったです。自然教室や修学旅行に、子どもたちを温かく送り出していただいたこと、運動会では開会式直前までグラウンド整備を行っていただき子どもたちが思い切り運動できる場を提供していただいたこと、本当にありがとうございました。

また、ようやく授業参観等を実施することができるようになったのも2学期からでした。お便り等での情報はあるものの、限られた情報では実際の学習や学級の様子がなかなか伝わらずご心配だったことでしょう。特に1年生の保護者の皆様は、お子さんの学校での様子を見たいと待ち望まれていたことでしょう。ようやく授業を公開したり、個別面談を行ったりすることができるようになり、保護者の皆様のお顔を拝見しながらお子さんについての話をすることができました。家庭と学校との連携をより深くすることができ、職員も喜んでおります。

ニュース等を見る限り、この感染症が収束に向かうには、まだまだ時間がかかりそうです。3学期も、必要なことを工夫しながら行っていくと思います。ご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、今年は昨年より早くまとまった雪が降り、寒い日が続きます。お体にお気をつけられ、どうかよいお年をお迎えください。

高志小学校ABCD

A: 当たり前のことを

B: ばかにしないで

C: ちゃんとできる人が

D: できる人(すごい人)